

従業員向け

放課後等デイサービス評価表（7名の回答）

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		ワンルームが広くて見渡せるのは良い。 フロア（カーペット）部分がもう少し広い方がのびのびできる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2	学校への迎えは（放課後デイ）時間、入浴介助等で退所までばたばたしている。もっとゆったりとしてもらいたいので、午後の職員数増加してほしい。 木曜日の放課後デイの利用児が増えた時が不安に感じています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		今年が初めてです。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	どのようにするのか、役所に再度聞いてみます。コストがかかるのならちょっと...。 第三者による外部評価。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		オンラインセミナー等。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	重心にフォーマルなものは使えないと思う。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	振り返りノート、茶話会。 できていない日がある。活動の起案書、見てる人と見てない人で分かっているような...
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	気付きノートに記入し、次につなげている。 修了後はなく、茶話会でします。 かたよっていると思う。共有できている人とできていない人。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	記録、最近全体で書き始めたような...
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	1	入浴介助が主になって、短い時間での利用の中では難しい点がある。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	コロナが始まってからできていない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	努力してます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	送迎時は会話とかで情報収集。 送迎時に。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	送迎時に。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	送迎時に。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	必要時には。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4	賛否両論あるのでいつかでいれば。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3	今年から準備して間もなく始めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		スマホ、ロックかけなくてもいいのかな?と思いました。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	開所間もない事業所でもあるし、「開かれた事業運営」の線引きも難しいのでは。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	マニュアルの策定はしてあるが、発生想定訓練は発展途上。 左記2つ、作成しています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	新施設なのでこれからです。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		サバアレルギー対象の方は必ず除外している。
非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	これからです。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束、100%ないです。

保護者向け デイサービス評価表 (4名中3名回答)

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	2			少ないと感じることがありました。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(*1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	3				
適切な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1			利用中にリハビリを受けることはとても嬉しいです。子供の特性に関しては、まだ開所したばかりなのでムラがあると思います。少しずつ子供の特性を理解して頂けたら十分です。
	6 事業所が公表している支援プログラム(*2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(*3)が作成されていると思いますか。	3				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				
	10 事業所の活動プログラム(*4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1			保護者側の希望で、ある程度固定してもらっているため
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1		2		感染対策上、難しいと思います。
保護 者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(*5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		2		感染対策上、難しいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	2		感染対策上、難しいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1			マニュアルは策定されているが、訓練については不明。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			1	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

別コメント：楽しく利用させて頂き感謝です。ありがとうございます。インフルエンザ・コロナの自宅療養の期間、10日間は完全に菌を事業所に持ち込まないという意味では素晴らしい日数だとは思いますが、それぞれスタッフさんや利用者家族にも予定や仕事などがあるため、かなりきつい日数とも思いました。そう簡単に10日間休むことはできないからです。はなお、はなこで感染拡大した時から、インフル・コロナが出るたびに「はなお、はなこ、よくインフル・コロナ出るね」と言われたりします。ただ、これはしっかり情報提供をして下さっているから余計に目立つのかなと思うところもあります。利用者としてはとても信頼できるのでありがたいです。最初スタッフさんみんなで話し合って10日間ちう決定があり、日が経つとそこに無理がある事がわかり、変更していく事はスタッフさんにとっても利用者にとっても、楽しく仕事をしてもらったり利用する上で大切なことだと思います。話し合って臨機応変に変えていく事は素晴らしい事だと思います。これからもスタッフさん達を大切に、利用者さん達が安心して過ごせるはなお、はなこであってほしいなと思います。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社友貴和会 重度心身障がい(児)者 多機能型事業所 はなこ		
○保護者評価実施期間	1月5日2026年	～	1月31日2026年
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	1月5日2026年	～	1月31日2026年
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月17日		
○分析結果			

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の支援や、利用者さんとの関わり、一日を振り返っての感想を書き出すノートの活用など、職員間の考えや意見を出す「しゃべり場」があること。 若いスタッフもメンバーにあり、既成概念にとらわれない発想が出やすい。	新しい事業所なので、職員さん達も新しい事に取り組もうとする姿勢がうかがえる。	人員不足がある中で、利用者さんにいるんな経験、体験と一緒に取組んでいく、そのためにも職種関わらず、「興味・関心・好奇心」を常に利用者さん、世の中に目を向けて創意工夫して活動を考えていくよう努める。
2	職場の雰囲気がよく、チーム的な団結力のようなものが感じられる。	仕事終わりに何気なく話をする場を自然と作っている(公私問わず)。	仲がいいのも大事だが、より専門性を磨くべく、研修や勉強会に取り組んでいく必要がある。関連に忌憚なく意見が言い合える職場雰囲気を継続しながらより良い質の高い活動提供、自己研鑽に取り組むこと。
3	呼吸器使用の利用者など重症度の高い医ケアの方がいても、あの人の特徴をみんなで情報共有し、恐怖心を自制して職種関わらず協力的。	各々の特徴に合わせた形の活動参加。 例：節分会－視力障がいのある利用者さんには、豆を持って投げる形にせず、スポンジソードを持ってもらい、職員と一緒に声かけしながら近づき、剣先で触れたら叩いて鬼退治をする、など。	活動を行う際、利用者だけでなくみんな一緒に取り組むを体現すべく、シチュエーションごとに雰囲気の醸し出し方や「なりきる」、可能な限り、本物かのごとく、こだわりぬく(よりリアルな体験をしてもらえよう努める)。 例：風船釣り祭りの夜店のようにはっぴを着たり、店構えにお面や風車をあしらうなど。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	重度心身障がい(児)者 多機能型事業所 はなこ					公表日	2026年3月2日		
						利用児童数	4名	回収数	3名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	2			少ないと感じることがありました。	基準人員配置は達成しており、マンツーマン以上の人員配置になっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3						
	呼吸器 使用の 利用	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1			保護者側の希望で、ある程度固定してもらっているため。	基本、月の前半週（1～2週目）は制作や見術活動等継続して行う活動、中盤はレク活動や身体運動などアラカルトな内容、後半は個別メニューという流れになっています。	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1		2		感染対策上、難しいと思います。	重心の利用者さんは抵抗力が弱く感染症等により劇的に体調を悪くする点から、慎重にならざるを得ないです。		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		2		感染対策上、難しいと思います。	いまなおコロナ感染症や冬期はインフルエンザ、6～7月などはノロウイルスなどの食中毒など、感染の脅威が一年を通じて様々です。ですので様々な情報共有や相談等は送迎時でのお母さん方とお話する機会の際に情報提供に努められたらと思います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	2		感染対策上、難しいと思います。	保護者の方の中におかれましてはも各々の考えがあり、なかなか難しいです。ただ、友貴和会の節目の年などには、何か集えるイベントのような事ができたらなあとは思っています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3						
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2		1				
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3							

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1			マニュアルは策定されているが、訓練については不明。	友貴和会で策定したものがあり、はなこでも踏襲していきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			1		年に2回、避難訓練実施予定です。災害時の備品や非常食の備蓄も少しずつ整えていっています。
	25	事業所より、子供の安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3					ありがたいお言葉です、感謝です。より良い居心地の良い居場所作りに努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3					ありがたいお言葉です、感謝です。より良い居心地の良い居場所作りに努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					ありがたいお言葉です、感謝です。より良い居心地の良い居場所作りに努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	重度心身障がい(児)者 多機能型事業所 はなこ				公表日	2026年3月2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		ワンルームが広くて見渡せるのは良い。フロア（カーペット）部分がもう少し広い方がのびのびできる。	十分なスペースです。講習会もいづれしたいと考えているので、畳マットはもう少し補充していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2	学校への迎えは（放課後デイ）時間、入浴介助等で退所までばたばたしている。もっとゆったりしてもらいたいのので、午後の職員数増加してほしい。 木曜日の放課後デイの利用児が増えた時が不安に感じています。	配置人員は基準をクリアしています。増員については、経営的に利用者さんがもう少し増えなければ増やせないのが現状です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		今年が初めてです。	今年度から様々なご意見を伺いながら、より良い事業所作りを一緒に目指していきましょう！。
	呼吸器使用の	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	どのようにするのか、役所に再度聞いてみます。コストがかかるのならちょっと...。	再度確認してみます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		オンラインセミナー等。	現時点で、職員さんからの申し出により、連業種間連携に関する研修やレクレーション支援者研修等、向学のために積極的に参加してくれているので継続していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	重心にフォーマルなものは使えないと思う。	重症心様に考えられたものではないのですが、国からの指示なのでそれなりの形に対応していています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	振り返りノート、茶話会。 できていない日がある。活動の起案書、見る人と見てない人で分かれているような...。	先だっでの会議でも改めてチームワークの良いみんななので、情報の共有をみんなで指摘し合いながら、振り返りも年齢問わずやっていきたいと思いますと声かけしながら取り組んでください。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	気付きノートに記入し、次に繋げている。修了後はなく、茶話会でします。かたよっていると思う。共有できている人とできていない人。	左記の取り組みを継続していきます。共有できているできていないは、職員同士で声掛けしていきましょう！。みんながみんな利用者さんみんなを支援してるのですから。仲がいいので忌憚なく声掛けしましょう！。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	記録、最近全体で書き始めたような...	職種関係なく、みんな関わっているのですから、一人の利用者さんに職員が1コメントでなくてもいいんです。2人3人書いてもかまいませんから、関わりの中で今日はこんな嬉しい事があって保護者さんに伝えたいと思えば、複数人のコメントがあってもいいと思います。しっかり書いてください。そこからの学びをみんなにフィードバックして下さい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	1	入浴介助が主になって、短い時間での利用の中では難しい点がある。	4つの基本活動は6か月間の中で行えていると思います。本人支援・家族支援・移行支援・地域支援、また皆さんにこういう事がそれに該当する、といった事をお伝えします。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	コロナが始まってからできていない。	コロナ・インフルエンザなどまだまだ周囲で見られます。できる範囲でとなると電話での2事業所間だったり、zoomでのオンラインだったりの方が妥当かと考えます。開催される機会があれば、なるべく参加していきたいと思えます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	努力してます。	申し出があったり、本来に業務に差し支えない状況なら、そのように努めていきたいと思えます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		申し出があったり、本来に業務に差し支えない状況なら、そのように努めていきたいと思えます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	送迎時は会話とかで情報収集。送迎時に。	送迎時に必ずお母さん方とお話をしているので、その中で双方の気になる事や情報交換・共有を続けていきましょう！。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	送迎時に。	送迎時に必ずお母さん方とお話をしているので、その中で双方の気になる事や情報交換・共有を続けていきましょう！。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	送迎時に。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	必要時には。	送迎時に必ずお母さん方とお話をしているので、その中で双方の気になる事や情報交換・共有・助言などを続けていきましょう！。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4	賛否両論あるのでいつかでいれば。	保護者の方の中におかれましては個々のお考えがあり、なかなか難しいです。ただ、友貴和会の節目の年などには、何か集えるイベントのような事ができたらなあとは思っています。

明寺	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	3	今年から準備して間もなく始めます。	4月までにはスタートできたらと、準備中です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		スマホ、ロックかけなくてもいいのかな？と思いました。	背実の放デイアンケートの話し合い時にロック設定をするようにしました。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	開所間もない事業所でもあるし、「開かれた事業運営」の線引きも難しいのでは。	今後の検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	マニュアルの策定はしてあるが、発生想定訓練は発展途上。 左記2つ、作成しています。	一つずつ整備していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	新施設なのでこれからです。	はなおで1月下旬に実地指導を受け、そこで整備するよう指導を受けて、現在障がい福祉課の職員の方にチェックしてもらいながら進めていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		サバアレルギー対象の方は必ず除外している。	母より情報受け、対応しています（外注先にも情報提供し対応しています）。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	これからです。	はなおで1月下旬に実地指導を受け、そこで整備するよう指導を受けて、現在障がい福祉課の職員の方にチェックしてもらいながら進めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束、100%ないです。	はなおで1月下旬に実地指導を受け、そこで整備するよう指導を受けて、現在障がい福祉課の職員の方にチェックしてもらいながら進めていきます。	